

仙台以前の 仙台を探る

伊達政宗が造ったというイメージの強い仙台ですが、それ以前にもこの地域には長い歴史と伝統がありました。

地中に眠る遺跡や随所に残る石塔を手掛かりとして、私たちの足元に広がる豊饒な史層を深く掘り下げます。

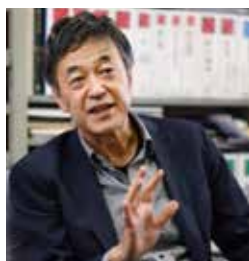
日時

2019年 3月2日 土
13:30~17:00

会場

東北大学文科系
総合講義棟

入場無料
申込み不要



異世界とつながる中世の仙台

佐藤弘夫 教授

立ち並ぶ寺院と石塔。響く祈りの声。行き交う行者たち。いまも市内の随所に残る痕跡と遺物を手掛かりに、中世の「仙台」の再現を試みます。



アジアにつながる太古の仙台地方

阿子島香 教授

鋭い刃を持つ石刃やナイフ形石器、移動するハンターたち。地中に眠る遺跡が語る、先史時代「仙台地方」の、広大な文化交流を探ります。



東北大学川内南キャンパス内
地下鉄東西線 川内駅……………徒歩5分
国際センター駅……………徒歩6分(坂・階段あり)

※会場に駐車場はございませんので公共交通機関をご利用ください。

